

**12月14日 株式会社九州野菜育苗センター  
小中学校や保育園に花苗を寄贈**

徳島県に本社を置く竹内園芸グループの株式会社九州野菜育苗センター(出田)が、パンジーとビオラの苗を市内の小中学校や保育園・幼稚園に約6000個、公共施設に約2000個を贈りました。



竹内勝取締役(左2)は「花の美しさや植える楽しさを体感してほしい。今後も菊池の農業発展に貢献できれば」と話しました

**12月10日 熊本言友会が漫画を寄贈  
吃音への理解を広めたい**

熊本言友会から市内の小中学校の図書室と公立図書館に漫画『きつおんガール』を寄贈。森圭二郎(大尺)会長は「吃音(※)という言葉がまだまだ社会に浸透していないので多くの人に知ってもらいたい」と話しました。



左から森会長、渡邊和博教育長、築山ともみ副会長  
※最初の言葉を繰り返したり(連発)、引き伸ばしたり(伸発)、詰まったり(難発)する症状のこと

**11月30日 時代に合わせた教育を  
市内小中学校へ1人1台タブレット**

市では市内小中学校のすべての児童・生徒が使用できるよう1人1台タブレットを整備しています。最初に納品された菊池南中学校では、3年生がタブレットを手に取り、早速、家庭学習支援サイトのドリル問題を解いていました。



今後、タブレットは授業での活用はもちろん、情報モラル育成と併せ、家庭学習での活用も順次開始していく予定です

**10月17日 中学生ファッション画コンテスト  
菊池北中学校の生徒2人が受賞**

「第5回山浄朗賞中学生ファッション画コンテストinくまもと2020」でグランプリ賞を受賞した菊池北中学校の村上陽音さん(3年)と優秀賞を受賞した角田葵さん(1年)が市役所を訪問しました。



村上さん(左2)は「画力を上げられるよう練習します」、角田さん(右2)は「色や服装を考えるのが楽しかったです」と話しました

**12月15日 図書館法施行70周年記念図書館関係者表彰  
市立図書館の福吉里加子司書が受賞**

図書館活動の功労者に贈られる表彰を福吉司書が受賞。福吉司書は24年以上、泗水町立図書館・菊池市立図書館職員として勤務し、NPO法人を設立し指定管理者としても活動。子どもの読書活動の推進にも大きく貢献しています。



福吉司書は平成29年開館の中央図書館の設立にも携わり、副館長としてその運営に尽力しました

**12月14日 自衛隊の活動に協力  
防衛大臣感謝状を受領**

防衛大臣感謝状の贈呈式が行われ、熊本地方協力本部の仲西勝典本部長が江頭市長へ感謝状を伝達しました。今回の受賞は、多年にわたる自衛隊に対しての市の協力活動や自衛官募集活動の実績によるものです。



左から仲西本部長と江頭市長。今後も市では自衛隊に対し、積極的に協力していきます

**12月4日 七城中学校で体験会  
ボートで菊池を盛り上げる**

七城中でボート競技体験会を開催。3年生44人がトレーニング器具に試乗しました。競技人口増加へ向け市と菊池高校ボート部が企画。市には斑蛇口湖に国内有数の常設コースがありクラブも発足するなど盛り上がりを見せています。



同中学校の川上悠さんは「ワットバイクやエルゴメーターのトレーニング器具を初めて体験して楽しかった」と話しました

**12月2日 第3回菊池警察署協議会  
市民の安全安心を守るために**

菊池警察署で協議会を開催。犯罪・交通事故の発生状況や飲酒運転の取り締まりの質疑・要望について情報共有されました。協議会委員5人は市の安全安心のため警察活動の理解や地域住民の意見を把握する活動に取り組んでいます。



昨年8月に新庁舎となった阿蘇警察署の施設見学も行き、活発な協議会となりました

**12月21日 旧迫水小学校  
エミュアの飼育がスタート**

旧迫水小学校に進出協定を締結した熊本県菊池エミュア観光牧場(株)がエミュアの飼育をスタート。同社は東京農業大学のオホーツクキャンパスと連携し孵化や飼育を研究。飼育開始に先立ち安全祈願祭を執り行いました。



生後8カ月の雛55頭を北海道網走市より陸送し、12月23日に旧迫水小学校へ到着しました

**12月16日 南北朝・菊池一族歴史街道  
ロゴマークが決定しました**

福岡県の4市1町(福岡県久留米市、八女市、小郡市、うきは市、大刀洗町)と進める「南北朝・菊池一族歴史街道プロジェクト」の統一ロゴマークが決定しました。広域による地域活性化を目指しPRなどで活用していきます。



大賞は山口ハルオ氏(高知県)の作品。全国から74点の応募がありました。【作者の思い】「菊」の文字と家紋を基調とし、一族とゆかりのある6自治体のつながりやプロジェクトの発展と輝きを6つのラインに込めました。勢いある朱色の筆払いでプロジェクトの発足を力強く表現しました

**12月10日 人権擁護委員菊池部会  
感染予防に手作りマスクを寄贈**

人権擁護委員菊池部会が布マスク200枚を市に寄贈。「コロナ感染症にストップをかけたい! ~マスクに希望を託す~」というキャッチフレーズのもとコロナ禍で自分たちができることをと考え、布マスクを手作りしました。



左から人権擁護委員の牧美代志さん(元村)、江頭実市長、人権擁護委員の樋川博久さん(深川)。マスクは感染防止のため活用します

**12月6日 フレッシュ熊本野球クラブ  
菊池公園一帯と隈府商店街を清掃**

市内の野球チーム「フレッシュ熊本野球クラブ」の中学生26人が菊池公園一帯と隈府商店街でごみ拾いをしました。毎年、きくち夏祭り後と年末に清掃活動を実施。細かいところまで目を向けながら熱心に清掃しました。



キャプテンの小佐田捺希さん(菊池南中学校2年)は「まちをきれいにするので地域を盛り上げたい」と話しました